



ポンプ車操法の部で優勝した第6分団の操法



小型ポンプ操法の部優勝の第3分団の操法

第6分団、第3分団が優勝

県消防協会猪苗代支部消防操法大会

平成29年度県消防協会猪苗代支部消防操法大会は7月2日、町水防センター西側駐車場で開かれ、選手たちが日頃の練習の成果を披露しました。猪苗代、磐梯両町の消防団が分団ごとにチームを編成して出場。規律、消防ポンプ操作の正確性、動作のスピードなどを競い合いました。主な成績は下記のとおりです(敬称略)。

【ポンプ車操法の部】

①第6分団②第3分団③磐梯町第3分団

最優秀選手 指揮者＝古川裕介、櫻井大輔、阿部正史(3、5、6分団)、1番員＝佐藤翔太(6分団)、2番員＝中野晃士郎、理島弘光(5分団、磐梯町3分団)、3番員＝小坂橋幸宏、阿部友輝、小椋岳大(1、3、6分団)、4番員＝穴澤雅志(磐梯町3分団)

【小型ポンプ操法の部】

①第3分団②第6分団③第1分団

最優秀選手 指揮者＝長谷川裕史(2分団)、1番員＝鈴木宏典、池田忠孝(磐梯町1、4分団)、2番員＝石田大作(磐梯町4分団)、3番員＝青山翔太、上野翔平(6分団、磐梯町1分団)

教育振興に役立てて

渡部百合子さんが町に寄付

渡部百合子さん(四ツ谷)は7月20日、町役場を訪れ、町に10万円と手作りのしおり100枚を寄付しました。

渡部さんは「これまで地域の皆さんにお世話になった感謝の気持ちを込めて寄付させていただきました。町の教育振興に役立ててほしいです」と話しました。

前後公町長は「善意をありがとうございます。有効に活用させていただきます」と感謝を述べました。



前後町長に善意を届ける渡部さん(中央)



玉串を捧げる大川原久夫副町長

湖水浴シーズンの無事故を祈る

猪苗代湖五浜合同浜開き

猪苗代湖水難事故防止祈願祭並びに五浜合同浜開きは7月7日、松橋浜で行われました。主催者を代表して渡部博行松橋浜観光組合長が「猪苗代湖が1年で最も賑わう時期を迎えます。訪れる人たちが安心して湖水浴を楽しんでもらえるよう、関係機関のご協力をお願いします」とあいさつしました。引き続き執り行われた神事では、関係者らが玉串を捧げて湖水浴シーズン中の無事故を祈願しました。



前後町長から感謝状を受ける長谷川さん

農業振興への尽力に感謝

退任農業委員に感謝状贈呈

任期満了に伴い退任した町農業委員への感謝状贈呈式は7月20日、町役場で行われ、前後公町長が感謝状を手渡しました。感謝状を受けた皆さんは次のとおりです(敬称略)。

長谷川正(渋谷)、細貝保男(東南真行)、鬼多見賢(三城湯)、阿部正義(牛沼)、小檜山久栄(島田)、土屋清美(上戸)、武田利和(伯父ヶ倉)、佐藤章(新屋敷)、渡部長昭(小田)、安達壽人(打越)、丸山之子(百目貫)

町の交通安全確保のため

猪苗代電友会がカーブミラーを清掃

町内の電気事業者などをつくる猪苗代電友会は7月14日、町内のカーブミラーの清掃ボランティア活動を行いました。清掃ボランティア活動には会員ら12人が参加。町内の交差点などに設置されている約100カ所のカーブミラーを清掃しました。

森口和弘猪苗代電友会長は「電友会は平成23年に設立しましたが、ボランティア活動は今回が初めてになります。町の交通安全の一助になれば」と話しました。



カーブミラーを清掃する会員ら

野本寛人さんが全国大会に出場

地元開催インターハイ空手道競技・団体組手に出場

7月28～31日にカメリーナで開催される全国高等学校総合体育大会(インターハイ)空手道競技・男子団体組手に出場する尚志高校2年生の野本寛人さん(川桁)は7月20日、町役場を訪れ、前後公町長と宇南山忠明教育長に全国大会での活躍を誓いました。前後町長は「けがに気を付けて頑張ってください」と激励。野本さんは「チームみんなで力を合わせ、悔いが残らぬよう全力を出し切ります」と力強く抱負を話しました。



前後町長から激励金を受ける野本さん(左から2人目)

藤澤忠さんが切り絵を寄贈

会津の雪景色を切り絵に

切り絵工房中藤代表の藤澤忠さん(会津若松市)は7月21日、町に切り絵作品を寄贈しました。贈呈式は同日、町役場で行われ、藤澤さんが宇南山忠明教育長に切り絵作品を手渡しました。寄贈した作品「雪景色」は縦48㍍、横93㍍の大きさで、南会津町西部地区の雪景色を題材にして藤澤さんが約25年前に制作しました。藤澤さんは「多くの人に切り絵の魅力を伝えたいです。町の文化向上に役立ててほしい」と話しました。



宇南山教育長に作品を手渡す藤澤さん(右)



磐梯山噴火による犠牲者の冥福を祈る関係者ら

470余名の犠牲者を追悼

磐梯山噴火殉難者供養祭

明治21年の磐梯山噴火犠牲者を追悼する磐梯山噴火殉難者供養祭は7月15日、西円寺で執り行われました。犠牲者の冥福を祈り、豊かな自然をもたらす磐梯山へ感謝するため、毎年、磐梯まつりの一環として行われています。磐梯まつり実行委員長の一ノ瀬正一町商工会長が「災害の教訓を後世に伝えます」と式辞を述べました。読経、焼香の後、前後公町長、長沼一夫町議会議長が供養の辞を、遺族代表の後藤新一さんが謝辞を述べました。

無火災 200 日を達成

会津若松地方広域市町村圏整備組合消防表彰

猪苗代消防署は7月16日、町内における無火災200日を達成し、会津若松地方広域市町村圏整備組合消防表彰を受けました。山田善久署長は7月19日、町役場を訪れ、前後公町長に受賞を報告しました。報告には、五十嵐幸夫町消防団長が同席しました。山田署長は「受賞は消防団や婦人消防隊などの協力のおかげ。無火災365日を目指し、今後も関係機関の協力を得ながら啓蒙活動や予防消防に取り組んでいきます」と話しました。



受賞を報告する山田署長(中央)、五十嵐団長(右)



前後町長から賀寿を受ける熊倉さん(左から2人目)

熊倉フイさんが100歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

7月13日に100歳の誕生日を迎えた熊倉フイさん(五十軒)への賀寿贈呈式は同日、特別養護老人ホーム咲楽の里で行われ、家族らが長寿を祝いました。小谷尚克会津保健福祉事務所長、前後公町長が賀寿や記念品などを贈りました。フイさんは読書や手芸が趣味で、自分で育てた薬草を長年飲んできたのが長生きの秘訣だそうです。長男の一男さんは「長生きは周囲の皆さんの支えのおかげです」と謝辞を述べました。

犯罪のない明るい社会を

「社会を明るくする運動」強化月間

「社会を明るくする運動」強化月間の7月、町内では猪苗代地区の保護司会や更生保護女性会などの関係団体により、犯罪のない明るい社会を築くための活動が繰り返されました。7月3日早朝にはJR猪苗代駅前啓発活動を行い、参加した約40人がチラシなどの啓発グッズを配り、非行防止などを呼びかけました。18日には町内広報活動として広報車で呼びかけを行ったほか、事業所などへ訪問し、明るい社会づくりへの協力を求めました。



7月18日の広報活動出発式に参加した皆さん



1_「福島・水俣交流事業」に参加して得た経験から、福島の現状と未来について発表する瀧口愛己さん。塩川正十郎賞を受賞 2_小学生の部で最優秀賞を受賞した二瓶莉奈さん。命の大切さと将来の夢について発表 3_祖母を亡くしてから気づいた「命の大切さ」を発表する井上香耶さん 4_発表者と審査員の皆さん



未来を担う青少年の主張

青少年メッセージ2017

青少年メッセージ2017第30回青少年の主張猪苗代町大会は7月15日、学びいなかで開かれました。大会には町内の小中高校から12人が参加。「夢や希望、まちづくりに関すること」などをテーマに自由な発想で発表しました。審査の結果、翁島小6年の二瓶莉奈さん、東中3年の瀧口愛己さん(=塩川正十郎賞)、猪苗代高校2年の井上香耶さんが最優秀賞を受賞しました。



ビジネスマナーを学ぶ新社会人

新社会人の活躍を祈り激励

新社会人激励会・ビジネスマナー研修会

町商工会主催による新社会人激励会は6月28日、町商工会館で開かれ、町内の事業所など新入社員ら11人が参加しました。町商工会の國井宗雄副会長、前後公町長、後藤公男町議会議長があいさつし、新入社員らを激励しました。代表して町振興公社の増子風鈴さんが「新鮮な気持ちを忘れず、皆さんの期待に応えられるよう日々精進します」と謝辞を述べました。引き続きビジネスマナー研修会を開き、言葉遣いなどについて学びました。

子どもたちの教育に役立てて

「こども手帳」贈呈式

「こども手帳」贈呈式は7月10日、町役場で行われ、日本公衆電話会福島支部の渡部善喜理事が森口勉教育総務課長に子ども手帳180部と電子版こども手帳(CD)30枚を手渡しました。渡部理事は「社会の一員として生活するためのルールや安全に関することが分かりやすく掲載されています。道徳教育の副教材などで活用してください」と話しました。「こども手帳」は、町内の小学校5～6年生に配布されます。



森口課長にこども手帳を手渡す渡部理事(左)